

行財政改革特別委員会 具体的検討事項のまとめ

(調査事項：「新庁舎に関すること」)

当委員会は、令和4年5月27日の臨時会において設置され、今期の調査事項を、「新庁舎に関すること」、「組織体制に関すること」および「行政のデジタル化に関すること」の3件とし、委員会を運営してまいりました。

このうち、「新庁舎に関すること」においては、品川区新庁舎整備基本構想・基本計画策定委員会における基本計画の策定に向けた検討の時宜に合わせて議題とし、新庁舎整備に向けた進捗状況の説明や、パブリックコメントにおいて区民より出された意見の紹介等を受けながら、計5回にわたって議論を重ねてまいりました。合わせて、「本庁舎等整備における基本設計について」をテーマとし、世田谷区の視察を行いました。

本まとめは、当委員会で調査・研究を重ねてきた内容を取りまとめたものであります。つきましては、今後の品川区における行財政改革に関し、本委員会での議論で委員より出された意見や本まとめを活かして施策を展開していただくよう求めます。

記

○ 区民サービスについて

- (1) 複数の手続きを要する子育て世帯の転出入や亡くなった際のお悔やみ窓口等に関し、ワンストップ窓口の実現に向けて検討すること。
- (2) 高齢者福祉や障害者福祉と同様に、精神障害や難病の手続きも庁舎の中でできるよう検討すること。

○ 将来変化・経済性について

- (1) ランニングコスト縮減に向けた工夫について、引き続き検討すること。

○ ゾーニング計画について

- (1) 福祉に関する部門の入口階への配置や、区民サービスに関する窓口の低層かつワンフロアでの配置を検討すること。
- (2) 新庁舎における駐車場が不足する場合の代替地についても検討すること。
- (3) 最上階付近における展望スペースや息抜きのできるスペースの設置について検討すること。

○ 外観計画について

- (1) 区民が新庁舎を見たときに愛着が持てるような外観を検討すること。

○ 事業計画について

- (1) コンストラクション・マネジメント方式における事業者の選定について、目的に適した事業者を慎重かつ速やかに選定すること。

○ 区民意見について

- (1) 区民から意見をいただく説明会に積極的に取組むとともに、区民への周知を徹底すること。
- (2) 障害者の方から直接声を聞く仕組みを作るとともに、説明会等においては、手話通訳の配置や要約筆記などの合理的配慮に取り組むこと。
- (3) 説明会の開催に際するオンラインの活用についても検討すること。

行財政改革特別委員会 具体的検討事項のまとめ

(調査事項：「行政のデジタル化に関すること」)

当委員会は、令和4年5月27日の臨時会において設置され、今期の調査事項を、「新庁舎に関すること」、「組織体制に関すること」および「行政のデジタル化に関すること」の3件とし、委員会を運営してまいりました。

このうち、「行政のデジタル化に関すること」においては、令和4年4月に策定された品川区DX推進基本方針に基づく品川区の取組みを中心に2回にわたって議論を行いました。

まず、行政の視点から、AI、RPA、セキュリティ強化等の区の取組みについて説明を受け、デジタル技術を活用した業務の効率化について、活発な議論が行われました。

次に、区民・地域の視点から、デジタルデバイド対策、来庁しない仕組み、マイナンバーの活用、キャッシュレスの推進等について説明を受け、デジタル化による区民サービスの改善について議論を深め、各委員から様々な提案を行いました。

本まとめは、当委員会で調査・研究を重ねてきた内容を取りまとめたものであります。つきましては、今後の品川区における行財政改革に関し、本委員会での議論で委員より出された意見や本まとめを活かして施策を展開していただくよう求めます。

記

○ 区民・地域の視点について

- (1) 品川区が提供している様々な電子申請サービスについて、区民が利用する際にわかりやすい仕組みにすること。
- (2) 「品川区電子申請サービス」が区民に活用されるようにメリットを訴求し、丁寧な説明・周知に取り組むこと。
- (3) 申請手続きのオンライン化については、紙申請を希望する区民にも配慮した仕組みを検討しながら進めること。
- (4) オンライン申請における手数料のキャッシュレス決済について、クレジットカード以外の支払方法の確立に引き続き取り組むこと。
- (5) オアシスルームの利用料のキャッシュレス決済の導入について、引き続き取り組むこと。

○ 行政の視点について

- (1) デジタル化による業務の効率化にあたっては、コストの低減も意識したうえで進めること。
- (2) デジタル技術の活用による業務の効率化を図るにあたっては、区民の利益が向上するように進めること。
- (3) 職員のテレワークについて、推進していくこと。
- (4) 品川区DX推進基本方針において定めている重点取組項目の目標については、可能なものについては前倒して進めていくこと。
- (5) デジタル化の推進による業務の効率化によって生じた人材や時間を活用し、区民サービスの向上を図ること。

災害・環境対策特別委員会 具体的検討事項のまとめ

(調査事項：「防災に関すること」)

当委員会は、令和4年5月27日の臨時会において設置され、今期の調査事項を「防災に関すること」、「清掃・リサイクルに関すること」および「環境に関すること」の3件とし、委員会を運営してまいりました。

このうち「防災に関すること」においては、「防災情報、備蓄」と「避難計画、要配慮者支援、防災訓練」という2つのテーマに分けて、調査・研究を行いました。

まず、「防災情報、備蓄」については、防災情報の収集、共有、発信の取扱い、情報発信のための主な媒体や、防災情報に関する近年の体制強化の取組み、災害時用物資の制度上の位置付けや各主体の役割分担、区の備蓄物資の内容や災害時の輸送・配付方法等について理事者より説明を受け、その後の議論では、区民に提供する情報の検討、情報発信における工夫、防災情報の収集方法、自宅での備蓄の重要性についての区民への周知、地域内輸送拠点での事業者との連携についてなど、委員から様々な意見が挙げられました。

次に、避難計画、要配慮者支援、防災訓練については、震災時・風水害時の避難の考え方、避難所・避難場所等の概要、要配慮者支援の取組み、防災訓練の対象者や実施状況について理事者より説明を受け、その後の議論では、個別避難計画作成の推進、在宅避難の重要性やペットの同行避難についての区民への周知、避難行動要支援者の防災訓練への参加における仕組みづくりの推進、防災訓練におけるリーダー育成の推進についてなど、委員から様々な意見が挙げられました。

本まとめは、当委員会で調査・研究を重ねてきた内容を取りまとめたものであります。つきましては、今後の品川区における災害・環境対策に関し、本委員会での議論で委員より出された意見や本まとめを活かして施策を展開していただくよう求めます。

記

○ 防災情報、備蓄について

- (1) 災害時において、避難情報のような緊急的な情報のほかに、生活情報が提供されるよう検討されたい。
- (2) 障害者や観光客への情報発信について、当事者が情報を得られるよう、特に障害者においては、当事者の声を聴きながら、具体的な取組みを図られたい。
- (3) 新しい防災ラジオにおける、一般放送と緊急放送の区分について、さらなる検討を進められ

たい。

- (4) 災害時における区民等からの通報について、ICTの活用を図られたい。
- (5) 在宅避難に備えて、自宅における物資の備蓄の重要性について、区民に改めて周知されたい。
- (6) 地域内輸送拠点での物資の仕分作業について、事業者との訓練実施を含めた連携の強化を図られたい。

○ 避難計画、要配慮者支援、防災訓練について

- (1) 高齢者および障害者の個別避難計画作成を今後も着実に進めるとともに、進捗状況が分かるよう工夫を図られたい。
- (2) 在宅避難の重要性について、区民に改めて周知されたい。
- (3) ペットの同行避難に関する区の実施について、区民に効果的に周知されたい。
- (4) 避難行動要支援者の防災訓練への参加を位置づけた個別避難計画を作成し、支援体制の具体化と当事者が参加できる仕組みづくりを進められたい。
- (5) 複数の町会で運営する区民避難所において、連携がとれた防災訓練が行えるよう、リーダーの育成を進められたい。

災害・環境対策特別委員会 具体的検討事項のまとめ

(調査事項：「清掃・リサイクルに関すること」)

当委員会は、令和4年5月27日の臨時会において設置され、今期の調査事項を「防災に関すること」、「清掃・リサイクルに関すること」および「環境に関すること」の3件とし、委員会を運営してまいりました。

このうち、「清掃・リサイクルに関すること」においては、「品川区一般廃棄物処理基本計画（第四次）」の策定にあたり、区の現状と課題、計画の概要などについて理事者より説明を受け、その後の議論では、ごみの発生抑制を推進するための区民や事業者への啓発、ごみの減量・リサイクル率の向上のための取組みについてなど、委員から様々な意見が挙げられました。

本まとめは、当委員会で調査・研究を重ねてきた内容を取りまとめたものであります。つきましては、今後の品川区における災害・環境対策に関し、本委員会での議論で委員より出された意見や本まとめを活かして施策を展開していただくよう求めます。

記

- (1) 区民のごみの発生抑制、分別やリサイクルの意識がより向上するよう、さらなる啓発を図りたい。
- (2) 自主的なリサイクルシステムを構築して、積極的にリサイクルを推進している区内事業者の取組みをほかの事業者を紹介されたい。
- (3) ごみの減量・リサイクル率の向上のため、モデル地区を設置して、集中的に取り組まれたい。
- (4) ごみの減量や発生抑制について、区民や区内事業者へより一層工夫した啓発を図られたい。
- (5) 単身世帯やマンション・アパート居住者の増加、通販、オンライン購入による梱包材の増加など、ライフスタイルの変化に伴うごみの排出に即して、分別の徹底とともに分別の方法やリサイクルの情報を分かりやすく発信されたい。

災害・環境対策特別委員会 具体的検討事項のまとめ

(調査事項：「環境に関すること」)

当委員会は、令和4年5月27日の臨時会において設置され、今期の調査事項を「防災に関すること」、「清掃・リサイクルに関すること」および「環境に関すること」の3件とし、委員会を運営してまいりました。

このうち、「環境に関すること」においては、「品川区環境基本計画」の中間見直しにおいて、見直しの経緯、目標、計画の概要や検討経過などについて理事者より説明を受け、その後の議論では、二酸化炭素排出削減目標を達成するための取組みや区民・事業者への啓発、計画に掲載すべき内容等についてなど、委員から様々な意見が挙げられました。

本まとめは、当委員会で調査・研究を重ねてきた内容を取りまとめたものであります。つきましては、今後の品川区における災害・環境対策に関し、本委員会での議論で委員より出された意見や本まとめを活かして施策を展開していただくよう求めます。

記

- (1) 区所有の施設で環境に関する様々なイベントを開催されたい。
- (2) 環境への取組みや学習をしている子どもたちの意見について、環境基本計画に反映されたい。
- (3) 二酸化炭素排出削減目標達成に向けた、区民や区内事業者の取組みについて、情報や費用の支援を図られたい。
- (4) 二酸化炭素排出削減目標の達成に向け、区民が行うべき取組み等に関するコラムについて、環境基本計画により多く掲載されたい。
- (5) 地球温暖化により世界が危機的な状況であることについて、環境基本計画に明記されたい。
- (6) マイボトル対応型給水機設置など、プラスチック削減に向けたライフスタイルに係る具体的な取組みを図られたい。